

県下の地価公示の特徴

1 全体

- (1) 継続調査地点 302 地点のうち軽井沢町の住宅地 2 地点で上昇、長野市の住宅地 1 地点で横ばいとなった他は、全地点で下落しました。
- (2) 用途別の平均変動率は、住宅地で-2.9% (0.4 ポイント縮小)、商業地で-3.9% (0.4 ポイント縮小)、工業地で-4.4% (0.2 ポイント縮小) となり、全用途で下落幅が昨年と比べ縮小しました。

2 住宅地

- (1) 継続調査地点 201 地点のうち軽井沢町の 2 地点で上昇、長野市の 1 地点で横ばいとなった他は、全地点で下落しました。
- (2) 平均変動率は、-2.9%と 16 年連続の下落となりましたが、下落幅は昨年(-3.3%) より 0.4 ポイント縮小しました。下落幅の縮小は、3 年連続です。
- (3) 市町村別では、軽井沢町での上昇を除き、すべての市町村で下落となりましたが、東御市 (H24 -5.7%→H25 -2.6%)、信濃町 (H24 -4.6%→H25 -3.3%)、大町市 (H24 -4.0%→H25 -2.9%) など 35 市町村で下落幅が縮小、中川村 (H24 -2.1%→H25 -2.9%)、池田町 (H24 -3.9%→H25 -4.5%) など 7 市町村で下落幅が拡大、上松町 (-4.7%) の 1 町で昨年と同じ下落率となりました。
- (4) 長野市では、下落幅が縮小 (H24 -3.1%→H25 -2.8%) しました。
- (5) 松本市では、下落幅が縮小 (H24 -2.7%→H25 -2.2%) しました。
- (6) 最高価格地点は、長野-13 (妻科神社 南) で 86,600 円/㎡(-1.9%) でした。これは、平成 12 年に標準地に設定して以来 14 年連続です。

3 商業地

- (1) 継続調査地点 96 地点すべてで下落しました。
- (2) 平均変動率は、-3.9%と 21 年連続の下落となりましたが、下落幅は昨年(-4.3%) より 0.4 ポイント縮小しました。下落幅の縮小は、3 年連続です。
- (3) 市町村別では、すべての市町村で下落となりましたが、佐久市 (H24 -5.2%→H25 -3.9%)、信濃町 (H24 -6.0%→H25 -4.9%)、大町市 (H24 -3.7%→H25 -2.7%) など 28 市町村で下落幅が縮小、飯島町 (H24 -4.4%→H25 -5.3%)、木曾町 (H24 -3.9%→H25 -4.7%) など 8 市町で下落幅が拡大しました。
- (4) 長野市では、下落幅が縮小 (H24 -3.6%→H25 -3.1%) しました。
- (5) 松本市では、下落幅が縮小 (H24 -4.0%→H25 -3.6%) しました。
- (6) 最高価格地点は、長野 5-2 (長野駅前) で 375,000 円/㎡ (選定替) でした。

(注) 平成 24 年の変動率は、「住宅地」においては、「市街化調整区域内宅地」の調査地点を、「商業地」及び「工業地」においては、「準工業地」の調査地点を含めて算出したもの。